



平成28年 1月 15日 益田農業担い手支援センター発行
益田市ホームページアドレス <http://www.city.masuda.lg.jp/>



謹んで新春のお慶びを申し上げます



もくじ

- 1. 行事スケジュール
- 2. お役立ちなんでも情報
- 3. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ
- 4. 紹介コーナー
◇◇雑談コラム◇◇

1. 行事スケジュール

月 日	イベント名	会場・時間
1月27日	平成27年度 普及活動・試験研究 成果発表会	場所：ビッグハート出雲（出雲市駅南町） 時間：10：30～
1月28日	益田市認定農業者連絡協議会主催講演会	場所：益田市役所 時間：15：00～
2月 3日	食品表示研修会	場所：益田合同庁舎 時間：13：30～
2月24日	平成27年度西部地区肉用牛振興大会	場所：益田合同庁舎 時間：13：30～

2. お役立ちなんでも情報 ～各地イベント・情報提供～

平成27年度食品表示研修会を開催します

農産物や加工品を販売する場合には、食品表示が必要です。4月に「食品表示法」が施行され、今までの食品表示と異なる表示が必要となります。違反した場合は回収や罰則の可能性があります。

新しい食品表示制度を理解し、自らが製造・販売する食品に正しい表示をおこないましょう！

日 時：平成28年2月3日（水）13:30～15:30

会 場：益田合同庁舎5階大会議室

問い合わせ先：益田農業普及部 担当 小早川 TEL 31-9615



農業サポーター養成講座「ますだアグリ楽援」第7期受講生の募集を開始！

市では平成18年から、農業に関心を持つ市民の方を対象とした農業講座「ますだアグリ楽援」を開講しています。農業に関する講義や実践研修を通して、益田市農業の理解者を増やし、地域農業の活性化につなげるとともに、「農業サポーター」として、農家のお手伝いをさせていただくことを目的とした講座です。

これまで6回の講座が開催されたアグリ楽援ですが、第7回目の講座を本年3月から10月の予定で開講されます。多くのサポーターの皆さんが活発に活動されることをイメージして、現在アグリ楽援の開講準備をしています。

お近くに農業に興味がある方や、農業をこれから始めたいと考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けをお願いいたします。

※詳しくは、同封の「農業サポーター養成講座「ますだアグリ楽援」第7期受講生の募集！」のチラシをご覧ください。

申込締切
平成28年1月29日(金)



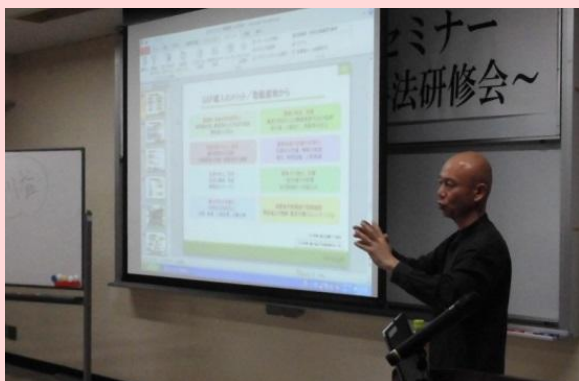
石西地域あぐりトップセミナー（安全・安心な農産物生産手法研修会）を開催

平成27年11月27日（金）、益田合同庁舎大会議室において、農業生産工程管理（GAP）に関する知識と理解を深めることを目的として、石西地域あぐりトップセミナー（安全・安心な農産物生産手法研修会）が開催され、関係者47名（うち農業者30名）が参加しました。

研修会では、自ら野菜生産を行いながらJGAP上級審査員として活動されている安心農業株式会社代表取締役の藤井淳生氏を講師に招き、「持続的な農業経営、安全・安心な農産物の提供に向けた農業生産工程管理導入のポイント」と題して講演がありました。

藤井氏の講演では、GAPをめぐるこれからの動き、GAPによる損失の回避、リスクの発見と予防、GAP導入の効果などについてお話をいただき、特に、農作業安全と農薬の保管の話では、実際の写真を示しながら、具体的に分かりやすく説明され、参加者は熱心に聞き入っていました。

研修後実施した参加者へのアンケートでは、回答者27名中16名の方が将来的にGAPに取り組んでみたいという意向を示され、関心の高さがうかがえました。



第30回島根ぶどう園コンクールでも新規就農者が入賞！

第30回島根ぶどう園コンクールの現地審査が平成27年6月に行われ、益田市からは2園が候補に選ばれ、審査を受けました。

この審査の結果、平成27年3月に就農された森原孝さんが島根県農業協同組合長賞を受賞されました。おめでとうございます。

平成27年産島根シャインマスカット品評会で益田市から3名入賞！

平成27年8月に開催された島根シャインマスカット品評会には県内各産地から19点の出品がありましたが、益田市からは5kgダンボールコンテナの部で1名、1房化粧箱の部で2名、合わせて3名の方が受賞されました。おめでとうございます。

【受賞されたみなさま】

○5kgダンボールコンテナの部

中国四国農政局長賞 椋新さん

○1房化粧箱の部

島根県農業協同組合長賞 能地利典さん

島根県果樹研究同志会長賞 福原博さん



渡邊哲朗さん「頑張っているリーダー顕彰」受賞

11月24日に島根県庁で益田市赤雁町の渡邊哲朗さんが、『しまねの農林水産業・農山漁村「頑張っているリーダー」顕彰』で表彰されました。

水害後に農業機械の共同利用と水稻作業の受託を目的とした「赤雁農業生産組合」を設立したことからスタートし、赤雁地区や農業を取り巻く状況の変化に対応しながら、平成6年に畑作の共同作業組織「赤心会」、平成9年に「赤雁地区活性化推進協議会」、さらに平成13年には法人格を持った有限会社「赤雁の里」を立ち上げ、農業振興と交流人口増加による地域活性化に貢献してこられたことが評価されての受賞となりました。【知事と他の受賞者との記念撮影。前列、右から2人目が渡邊さん】

平成17年から年4回開催されている、地域の歴史・文化を活かした交流型イベント「農村歳時記」は、今や益田市を代表する農村イベントに定着しています。



「一日農政局 in 益田市」が開催されました

11月25日、内田町にある益田市土地改良区において「一日農政局 in 益田市」が開催されました。

始めに、農政局から「最近の農業情勢と優良な取組」、市長から「益田市における農業概要と施策の展開」について説明が行われました。続いて事例発表として真砂地区振興センター長の大庭完さん、アグリ種事務局長の渡邊修さん、赤雁の里取締役の渡邊育子さん、フードクリエイターの菊池真子さんから各自が取り組んでいる活動についての報告がありました。また「次世代につなげる中山間地域の農業・農村」をテーマにしたパネルディスカッションでは、次世代につなげる取組みが必要であることや地産地消の取組がUターンを呼び寄せるのではないかなど、活発な意見が出されました。



3. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ

認定農業者連絡協議会主催 講演会を開催します！

地域の農業・農村を支える次世代の担い手・後継者の確保・育成をテーマに、下記のとおり講演会を開催します。講師は、(有)木之内農園（熊本県阿蘇郡）の代表取締役であり、現在は熊本県教育委員長としてもお務めていらっしゃいます、木之内 均氏です。ぜひ奮ってご参加ください。

日 時 平成28年 1月28日（木）15：00～

場 所 益田市役所 3階 大会議室

内 容 演題「農業で生きる魅力を次世代へ伝えるために（仮題）」

○講 師○

有限会社木之内農園

代表取締役会長 木之内 均 氏



第18回全国農業担い手サミット in みやざきに行ってきました！

と き：平成27年11月10日（火）～12日（水）

ところ：全体会～宮崎市民文化ホール 現地研修会～宮崎県内8地域

「第18回全国農業担い手サミット in みやざき」が、11月10日、11日に宮崎市民文化ホール（宮崎県実宮崎市）にて開催されました。今年のサミットは「語ろう未来を 受け継ごう今を！～農業の無限の可能性を信じて～」のテーマの下、全国から2,500人以上の認定農業者、集落営農組織関係者、関係機関の方々が参加されました。



歓迎アトラクションの神楽



加工品紹介コーナー

○全体会○

全体会には、皇太子さまがご臨席され、優良経営体表彰・農林水産大臣賞表彰式（個人・法人・集落営農組織）が行われました。その後の「担い手メッセージ」では、優良経営体表彰・農林水産大臣賞受賞の3名と地元農業高校の学生による発表が行われました。第2部のパネルトークでは、県内でご活躍中の先輩農業者、女性農業者、若手農業者が登壇し、農業の魅力や取組みについて、活発な意見が出されました。

○現地研修会○

現地研修会では、宮崎県内8地域38コースに分かれ、地域の特色ある農業や取組みが紹介されました。益田市からの参加者は3つのチームに分かれて視察しました。

南那珂地域「亜熱帯作物支場とマンゴー、日本一のスイートピーコース」では、亜熱帯植物の研究機関と太平洋のすばらしい眺めを満喫できる道の駅の見学をしました。また、風情ある城下町の散策を楽しんだ後、生産量日本一のスイートピーについて紹介していただきました。

北諸県地域「地域をリードする農業生産法人とバイオマスエネルギー施設コース」では、ICT化による効率化や安全・安心な加工品を目指す農業生産法人を訪問しました。また、焼酎や畜ふんを活用したバイオマスエネルギー施設を見学しました。

西臼杵地域「全国一の釜炒り茶生産地域と地元産原料にこだわったワインづくりを巡るコース」では、五ヶ瀬町の良質な茶葉の栽培に欠かせない霧に恵まれた冷涼な気候を活かしながら、手間ひまかけて生産する釜炒り茶の加工・販売の取組みと、五ヶ瀬町の大地の恵みが詰まったワインが出来上がるまでを見学しました。



【参加された方の感想】

- ・全国各地の農家の方々と交流を持てたことは、自分にとってとても為になった。もっとこじんまりと個々に交流ができれば、深い話ができ、勉強になるかも。
- ・地域交流会はやっぱり楽しい。いろんな世代の農業経営者と話すことで、メディアでは分からない情報を知ることができる。
- ・各県によって、気候風土の違いをうまく利用した営農や行政又はJA等の取組みを知り、それを少しでも地域に持ち帰り、伝えることを心掛けるようにしている。
- ・お茶・ワインと加工品を作って販売する法人を視察でき、大変良かった。一次産業はもう終わったと考えている自分としては、今の位置を認識するには、よその農家を見るのが一番。
- ・参考になるので多くの方に参加して欲しい。

第19回全国農業担い手サミットは、岐阜県で開催されます。多くの方の参加をお待ちしております。



4. 紹介コーナー

○新たに認定された認定農業者のみなさん

・矢富 邦久さん（赤城町）

津田町にて、施設野菜と水稲中心の経営をされています。4年前まで認定農業者としてご活躍されており、雇用就農を経て、この度新たに認定農業者に認定されました。今後は、ハウス面積の拡大を図るとともに、NPO法人と協力して障がい者雇用をし、農福連携を目指されます。

いきいきファーマーズ ～新規就農者紹介③～

名前： 山本 仁成

営農類型： 施設野菜

年齢： 20歳

主な営農場所： 飯田町

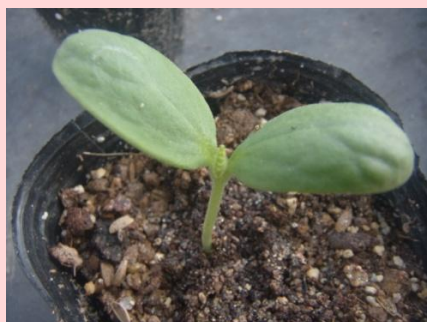
趣味は？ 家庭菜園、読書



益田で農業を始めたきっかけは？ 親の農業を手伝っていて、自分でも野菜などを作りたいと思ったから

将来の夢は？ キレイでおいしいメロンやトマトを作ること

今後の意気込みを一言！ ・少しずつ規模を大きくしていく ・いろいろな野菜を作ってみる



◇◇雑談コラム◇◇

新年明けましておめでとうございます。

我が家では毎年、お正月の『お雑煮』だけは父が作るようになっており、今年も父こだわりのお雑煮と母お手製のお節料理を囲み、賑やかなお正月を過ごしました。

地元・山口県萩市のお雑煮は、しょうゆベースのお出汁に丸もち・かぶ・人参・鶏肉・三つ葉の入った、具たくさんなのが一般的ですが、益田では焼鮎でとったお出汁に、丸もちのみのシンプルなお雑煮で、中には甘く煮た黒豆を入れる方もいると伺い驚きました！！ひとえに『お雑煮』と言っても、地域やご家庭によって様々なようですね♪

みなさんは、どんなお正月を過ごされましたか？どんな『お雑煮』を召し上がりましたか？ 2016年が皆様にとって良い年でありますように。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(N. 1)